



学校だより

「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
- 「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子を育てます。
- 「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
- 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
- 「関」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

令和5年1月10日
横浜市立菅田の丘小学校
校長 若山 京子
1月号
[睦月 January]

飛躍の年に

校長 若山 京子



穏やかな日差しのもと、希望に満ちた新しい年をお迎えのことと存じます。旧年中は、保護者の皆様、地域の皆様に、本校の教育活動に対しまして多大なるご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今回は3年ぶりに行動制限のない年末年始となりました。まだ新型コロナウイルス感染の状況は収まっていないため、引き続き感染予防には十分に気を配る必要がありますが、お正月は帰省や旅行、初詣などの外出を楽しむ方々で駅や町は混雑し、以前の活気が戻ってきたようでした。恒例の箱根駅伝も沿道にたくさんの人々が応援していました。声掛けは控えて、とのことだったそうですが、選手にとっては応援の人達の姿が、どんなにか励みになり、力を発揮するための後押しとなったことでしょう。過去2年間、無観客で何の応援もない中で走るということは、さぞかし孤独で心細く感じたのではないかと想像します。

昨年末に、子どもについての嬉しい話を二つ伺いました。一つは卒業生の保護者の方からの話です。その方がお住まいの地区のゴミ集積所の掃除をしていたら、6年生の子が「手伝いますよ。」と、さっと駆けつけて一緒に片付けをしてくれたそうです。もう一つは、登下校の安全を見守る通学路安全指導員の方からの話です。夕方4時頃なので放課後キッズクラブの帰り道でしょうか、池上小入口の交差点のところで、道の安全を確認して児童を通した時にその子から「さようなら。いつもありがとうございます。」と声を掛けられたそうです。ご連絡いただいたお二人の方がいずれも「とても嬉しかったから、ぜひ学校に伝えたくて。」と、わざわざ学校に立ち寄り話してくださったことにも感激しました。

学校では、保護者、地域の方々から子どもたちについて、様々なご連絡をいただきます。指導が行き届いていない姿としてのご連絡は、私たちの指導や支援のあり方を反省し、子どもたちの心に響く指導になるよう日々努めてまいります。子どもたちの良い姿のご連絡は、私たちの大きな励みになります。また、その話を子どもたちに返すことで、子どもたちの自信や誇りとなり自己有用感を高めることにもつながります。本校ではPTO役員の皆様はじめ保護者、地域の方々に、子どもたちの学習や生活の支援としてたくさんのお力添え、応援の声をいただいております。今後も、学校で学び、家庭でしつけ、地域で育む、それぞれの立場で子育ての役割を相応に分担し、温かく時に厳しく「チーム菅田の丘」で子どもの健やかな育成に取り組んでまいりたいと思います。

卯年は、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは飛び跳ねることから「飛躍する」といった言葉に象徴されます。本校は、今年4月には開校3年目を迎え、旧菅田小学校の校舎での生活は締めくくりに近づきます。3年間でひと区切りと捉えるなら、ホップ・ステップ・ジャンプの「ジャンプ」の年です。まさに卯年にふさわしく、子どもたち一人ひとりが未来に向かって挑戦し、菅田の丘小学校としても大きく成長する「飛躍の年」となるよう、日々の教育活動を展開してまいります。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

